

Q. 福祉コミュニティ施設の浴室は



おかじまさのぶ
岡島政信 議員

OKAJIMA Masanobu

A. 廃止の方向で検討する

令和3年度 児童館一日平均利用者数	
施設名	利用者数
しいの木	58.5人
さざんか	62.1人
ひまわり	42.2人

A 生活福祉部長
左表の通りである。

Q 各施設の児童館の平均利用者数は。

施設名	設置	経過
しいの木	平成11年	23年
さざんか	平成14年	20年
ひまわり	平成16年	18年

年間維持管理費	約410万円
再開費用	約210万円

A 生活福祉部長
左表の通りである。

Q 施設の浴室は設置後どれほど経過したか。また浴室再開や年間維持管理費用は。

福祉コミュニティ施設の利用者が少ない浴室について質問をする。



浴室の有効活用を

Q 福祉コミュニティ施設の浴室は、しいの木デイサービスセンターの入浴サービスを除き、一般利用ができない。北館さざんかや南館ひまわりの浴室の活用方法について、現時点における町の考えは。

A 生活福祉部長
北館さざんかや南館ひまわりの浴室は、以前の利用者数や設備の年間維持管理費を踏まえて、廃止の方向で検討する。各施設の利用状況に応じ町民にとってより良い活用方法の調査研究を進める。

A 生活福祉部長
小学4年生から高校3年生までの約1600人対象に、子どもの意見を聞くこと、ヤングケアラーであること、当事者に知っていただくため、アンケート形式で実施する。本調査は、無記名で、年明けに対象世帯へ調査票を郵送する予定である。



A 生活福祉部長
町を挙げての支援策を講じていくためには、関係部署や関係機関との連携が不可欠で、子ども応援課が中心となって、支援体制の構築に努める。



Q 実態調査は、どのように進められているか。

Q 今後どのような支援を考えているのか。
A 生活福祉部長
調査結果に基づき、本町の実態に則した支援策を講じていく。

Q 関係部署との連携は。

A. Q. ヤングケアラーの支援は町挙げての支援策を講じる